北九州市立黒崎中央小学校　高学年通信　文責：藤田　正博

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

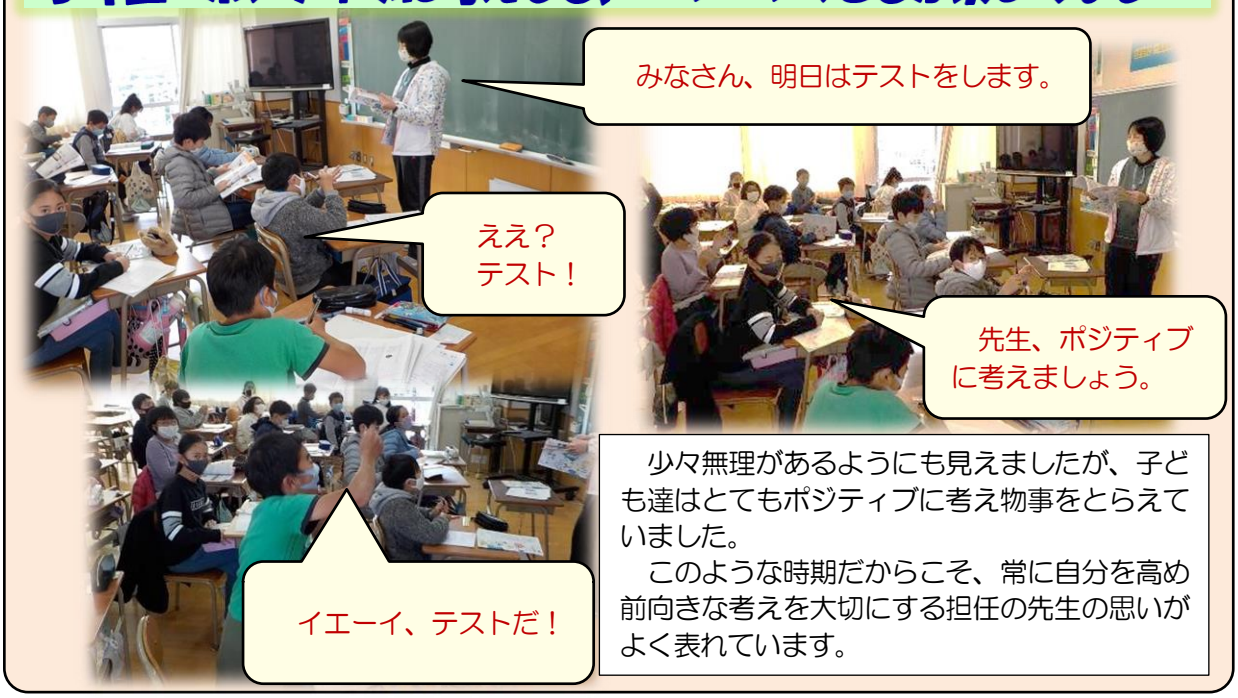
第１０５号　令和２年１２月１５日（火）

５年生　国語科では、根拠を伴って自分の考えをまとめました。

５ 年生の国語科では、自分の考えを論理立てて説明する練習をしています。この日は、６時間目の授業でしたが、子ども達は集中して自分の考えをまとめていました。

担当の河堂先生が、一人一人丁寧にアドバイスをしながら文章にまとめていました。

５年生　ポジティブに考えると、一つ一つのことが楽しくなる！



少々無理があるようにも見えましたが、子ども達はとてもポジティブに考え物事をとらえていました。

このような時期だからこそ、常に自分を高め前向きな考えを大切にする担任の先生の思いがよく表れています。

５年生　外国語科の学習　難しいけれど…チャレンジ精神で！

今年度から、学習指導要領（学習の指針）が改訂され、外国語科が新設されました。この日は、５年２組で担任の宮本先生が、コミュニケーションを大切にしながら、一人一人と会話の練習をしていました。小学校では、従来の音声言語に加え、文字に慣れ親しむ活動も取り入れられています。感覚的には、少し中学校内容が入ってきているようにも感じられます。

ハードルが上がっているように見えても、担当の宮本先生が楽しく活動できるように学習内容を工夫されていました。

このように、教科担任制では担任、担当が入れ替わっても学習内容を充実させるようと心がけています。

６年生　「絆」の集大成！学年で一つになり、ゴールを目指します。

例年、６年生は年が明けてから卒業に向けてのプロジェクトを始動させるのですが、今年は特別！

担任の先生方は、子ども達がコロナ禍であっても楽しい学校生活を送ることができた、と思ってもらえるように日々頑張っています。

毎朝、放課後、担任が集まって、「〇〇はどうしてあげたらいいかな？」

常に子ども達の目線に立ち、子ども達の実態に合わせてスケジュール調整をしています。

この日は、合奏の楽器を発表する日でした。緊張気味の子ども達に一言。

「挑戦する気持ちがすばらしいです。」

励ましの言葉と共に、最高のゴールを目指そうと６年生が一体化する様子がとても立派でした。